

協定校留学【終了】報告書

※現地の様子や大学の風景、ご友人との写真を添付して頂けると大変参考になります。ご協力ください。
 ※帰国後2週間以内に提出(送信)してください。
 ※津田塾大学海外留学(派遣・受入)奨学金受給者はこの報告書をもって奨学金受給者報告書とします。

留学先大学	リーズ大学	氏名	
国名	イギリス	学籍番号	
留学期間	2024 年 9 月 ~ 2025 年 5 月	記入年月日	2025 年 5 月 13 日

1 履修したすべての科目についてお書きください			
主な専攻分野: ビジネス (parent school) に関係ない授業を受講できるため、自分の興味がある授業を取っていました)			
科目名	Organisational Behaviour in Practice	科目名	Introduction to Effective Decision Making
授業内容	人材管理の課題や従業員行動のマネジメントを学び、組織の効果性向上に向けた理論と実践を批判的に考察します。	授業内容	意思決定に関する理論やバイアス、判断ミスの要因を学び、より効果的な意思決定を行うための方法を実生活や仕事に応用する方法を学びました。
授業形式	対面	授業形式	対面
単位数	10	単位数	10
サイズ	310	サイズ	90
難易度 Course No.	易しい	難易度 Course No.	やや難しい
宿題の量	普通	宿題の量	普通
コメント	基礎的な内容を丁寧に説明しながら進められており、知識を着実に身につけることができました。セミナーではグループで授業内容の復習を行う時間が設けられており、理解を深めながら進める構成が印象的でした。日本の就労文化との違いを肌で実感することができとても興味深い授業でした。	コメント	自分自身や他者の意思決定の背景にある思考プロセスや、判断ミス・バイアスがどのように生じるかについて学ぶことができ、興味深かったです。日常生活や将来のビジネスシーンにおいても活用できる知識が多く、自分の判断傾向を客観的に見つめ直す良い機会となりました。事例や研究に基づいた内容が多く、納得感を持って学習できました。
科目名	An Introduction to Thinking Interculturally	科目名	Love: Ethic
授業内容	異文化理解をテーマに、文化や言語、国境、移動、デジタル環境など多角的な視点から異文化間の関係を考察しました。文化や異文化性が抱える問題点や可能性を批判的かつ歴史的に捉え、実際の社会的事例や国際的な出来事を通じて理解を深めました。	授業内容	と人間関係に関する哲学的問いを探究し、恋愛の本質や社会的・倫理的問題を批判的に考察しました。
授業形式	対面	授業形式	対面
単位数	20	単位数	10
サイズ	45	サイズ	180
難易度 Course No.	難しい	難易度 Course No.	難しい
宿題の量	多い	宿題の量	多い
コメント	異文化理解の重要性だけでなく、その概念が持つ複雑さや問題点についても深く学ぶことができました。特に、実際の事例を通じて理論を応用する機会が多く、現実の国際問題や日常の対人関係に対しても、新たな視点で考える力が身についたと感じました。	コメント	愛や恋愛関係に対する哲学的な視点を通じて、普段当たり前のように受け入れている価値観や社会的規範について深く考えることができました。グループディスカッションでは教授との距離も近く、正解の無いお題に対して、白熱した議論が展開されていました。

科目名	Evolution and Human Behaviour	科目名	Language Through Literature and Place: Reading Yorkshire
授業内容	進化心理学の基礎を学び、ヒトの進化的起源と現代の行動への影響を学びました。	授業内容	ヨークシャーに関連する文学作品を通じて、場所と文学の関係を学びました。ゲストを招いたり、現地での体験を交えたりする機会があり、他の学生との交流の機会も多かったです。
授業形式	オンライン	授業形式	対面
単位数	10	単位数	20
サイズ	200	サイズ	50
難易度 Course No.	やや難しい	難易度 Course No.	普通
宿題の量	普通	宿題の量	多い
コメント	人間の行動が進化的にどのように形成され、どのように現代の行動に影響を与えているのかを理解することができました。唯一のオンライン授業であったため、部屋でゆったりと勉強することができ、良い息抜きとなる授業でした。	コメント	ヨークシャーの文学作品を実際に現地で体験し、その土地特有の文化的背景や歴史を理解しながらテキストを分析しました。洋書の文学作品を読み慣れていなかったため、最初はコツを掴むまで課題が大変でした。自由に考察を進めることが求められたため、独立した学びの姿勢を養うことができたと思います。
科目名	Psychology in the Media	科目名	Principles of International Business
授業内容	心理学の基本的な概念とメディアでの誤解や影響について学びました。	授業内容	国際ビジネスの基本原則を学び、グローバルな経済環境、異文化コミュニケーション、国際マーケティングなどについて学びました。
授業形式	対面	授業形式	対面
単位数	10	単位数	20
サイズ	350	サイズ	
難易度 Course No.	普通	難易度 Course No.	簡単
宿題の量	少ない	宿題の量	少ない
コメント	メディアが心理学的な内容をどのように誤解を招く形で伝えるか、そしてそれが私たちの認識にどのような影響を与えるかを批判的に考察することが非常に興味深かったです	コメント	ケーススタディや実際の企業例を通じて、理論を現実のビジネスにどう適用するかを学び、実践的なスキルを養う機会がありました。
科目名		科目名	
授業内容		授業内容	
授業形式		授業形式	
単位数		単位数	
サイズ		サイズ	
難易度 Course No.		難易度 Course No.	
宿題の量		宿題の量	
コメント		コメント	

2	授業において困ったこと、その解決法について教えてください 授業では、予習の量が多く、すべてを完璧に終わらせることが難しかったです。そのため、まずはその点を理解し、完璧を求めすぎないようにしました。また、分からない部分があれば、積極的に教授に質問することで、理解を深めるよう努めました。
3	授業以外の活動についてお書きください 留学先での交流を大切にし、現地の学生や他の留学生と積極的に交流することを意識しました。
4	寮(またはアパート、フラット)の生活について教えてください 寮(またはアパート、フラット)名とその場所 Leodis Residence. キャンパスから徒歩10分 設備についての簡単な説明 ensuite 部屋について 私が住んでいた棟は他のLeodisの棟とは異なる形をしており、少人数で一人一人に広い部屋が割り当てられました。 広さ 10 畳くらい ルームメートについて スペイン人2人、オランダ人1人、イギリス人1人、パキスタン人1人、アフリカ人1人、ルーマニア人1人。国際色豊かな環境だったため、同じ食事を囲む際には宗教や文化の違いがあり、日本では体験できないような話題や経験をすることができ、非常に貴重な体験となりました。 寝具や生活用品の入手方法 すべて自力で調達しました。City centerで生活用品は全て揃うためとても便利でした。 生活の感想 Leodisは坂の下に位置しているため、買い出しの際は一度に大量の食料を購入する必要があり、少し不便に感じることもありましたが、Receptionは24時間開いており、何か気になることがあればいつでも気軽に相談できる点が非常に便利でした。アットホームなフラットだったため、キッチンに行くと必ず誰かがいて、ホームシックを感じることはありませんでした。夕食は時間が合うメンバーで集まり、キッチンで一緒に食事を楽しんでいました。
5	食事についてコメントを書いてください 初めての自炊生活であったため最初は料理のレパートリーが少なく大変でした。ただ、city centerにはアジアンスーパーやレストランが充実しているためあまり心配する必要はないと思います。

6	医療保険についてお書きください	
	渡航前に加入した保険	
	オスマ	
	留学先大学にあった医療保険制度	
	留学中に受けた診察(もし差し支えなければ記入してください)	
7	費用について教えてください(実際にかかった費用のみ記入してください)	
	(現地通貨)	
	渡航旅費	20万 円
	帰国旅費	15万 円
	引越し(往復で)	0 円
	保険	8万 円
	語学研修費	0 円
	留学先学費	370万 円
	本学学費	20万 円
	教材費	0 円
	住居費	150万 円
	食費	30万 円
	その他()	40万 円
	()	円
	()	円
合計	円	
換算率 (£190 = 653万 円)		
受給した奨学金(留学用、給付)があれば記入してください		
8	留学前の準備について教えてください	
	日本から持参すべきもの	
	日本を紹介できるお菓子やグッズ、電子レンジ調理器	
	留学前にしておけばよかったこと	
日本に興味を持っている学生が想像していたよりも多かったため、もっと日本について話すネタがあったら良かったと思います。		

9	適応しにくかったこと(学習面・生活面)があれば、記入してください 予習が多いことやグループディスカッションでの参加態度が日本と異なる点
10	留学の成果(学習面・精神面)を教えてください 学習面においては、事前に関心を持っていた分野の授業を履修できたことで、専門知識を深く掘り下げることができました。特に現地の教授陣による実践的な講義は、日本では得られない視点や知見を提供してくれました。精神面では、慣れない環境での生活が自己成長の大きな契機となりました。また、日常生活における小さな困難を乗り越えていく中で、自立心や適応力も大きく向上したと感じています。自力で問題に対処する経験を通して、自己肯定感が高まり、新たな挑戦に対する恐れも減少しました。
11	今後の学習計画および進路について(就職活動)教えてください 留学という一歩を踏み出したことで得られた自信を糧に、今後も新たな挑戦の機会があれば積極的に取り組む姿勢を大切にしていきたいと思っています。進路については留学で得た異文化理解の経験や語学力を活かせる職場で、成長していきたいと考えています。
12	留学を目指す後輩へのメッセージをお願いします 新しい環境に飛び込むのは勇気が必要ですが、その一歩が人生を大きく変える経験につながると思います。語学に自信がなくても、留学で大切なのは、コミュニケーションを諦めない姿勢だと思います。拙い言葉でも自分の思いを伝えようとする努力が、確実に力になります。異文化の中で過ごす日々は、自分自身を見つめ直し、視野を広げる絶好のチャンスです。迷いや不安もあるかもしれませんが、挑戦した分だけ学びや成長があります。ぜひ自分を信じて、一歩踏み出してみてください。応援しています！
13	その他、ご自由に意見を書き込んでください